

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15029

市街地再開発促進事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	1	中心市街地の魅力向上
施策	1	中心市街地の魅力向上
取組方針	1	都市機能の充実とまちなか居住の促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続	関連個別計画	まちなか再生計画、社会資本総合整備計画、都市再生整備計画		
事業年度	無し ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	都市再生課	三宅 尊弘	435-1048
事業実施の根拠法令	社会資本整備総合交付金交付要綱	関連課	市民図書館、子育て支援課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市街地再開発事業等を行う事業者に対して、市の補助金に併せて、国・県補助の導入を図り、財政支援を行うとともに、技術的支援や賑わい創出を図るための助言を行い、まちなか(中心市街地)の活性化を図る。		<ul style="list-style-type: none"> 市街地環境の整備、良好な市街地住宅の供給、空地等の整備等を総合的に促進 市街地再開発などのまちづくりに積極的な組織・団体への調査研究等及び構想計画の策定に対する資金援助 			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
	・市街地再開発事業等に関する相談、協議	・市街地再開発事業等に関する相談、協議	・市街地再開発事業等に関する相談、協議	・市街地再開発事業等に関する相談、協議	・市街地再開発事業等に関する相談、協議	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	127	20	127	125	48	42	200	0	200	0
伸び率(%)	△3.8%	△100%	0%	525%	△62.2%	△66.4%	316.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	36,148	37,389	37,524	23,900	23,493	23,571	23,493	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	36,148	37,389	37,524	23,900	23,493	23,571	23,493	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	127	20	127	125	48	42	200	0	200	0
所要人数(人)	正規職員	4.66	4.82	4.82	3.07	2.99	3.00	2.99	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	旅費34千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市街地再開発事業関係団体のワークショップ開催回数		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	9	12	20		
			達成度(%)	150%	200%	%	%	%
【累計】市街地再開発事業の事業認可数		件	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>事業制度の性質上、地権者や借地権者などの権利者の意向が重要な制度であり、また、同意形成など時間のかかる事業でもあるため、根気強く普及啓発していく必要があると考えている。</p> <p>事業に向けた相談件数は増加しており、更なる市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、引き続き普及啓発に努め、当該事業の促進を図りたい。</p> <p>平成27年度から北汀丁地区第一種市街地再開発事業、平成28年度から和歌山市駅前地区と友田町四丁目地区が事業開始し、いずれの地区も令和2年度に事業終了。</p>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施を検討する事業者と権利者をつなぐ仕組みを検討する ・エリア別に誘導したい都市施設を明確にするとともに、重点エリアを定める。 ・補助金の査定を適切に行う。